

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-11991

⑬ Int.Cl.⁴
G 07 F 17/26
7/08

識別記号

庁内整理番号
7347-3E
S-7234-3E

⑭ 公開 昭和62年(1987)1月20日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 情報自動販売機

⑯ 特 願 昭60-151722

⑰ 出 願 昭60(1985)7月10日

⑱ 発 明 者 村 上 博 武 川崎市川崎区田辺新田1番1号 富士電機株式会社内
⑲ 発 明 者 香 川 崇 明 川崎市川崎区田辺新田1番1号 富士電機株式会社内
⑳ 出 願 人 富士電機株式会社 川崎市川崎区田辺新田1番1号
㉑ 代 理 人 弁理士 山 口 巖

明 細 書

1. 発明の名称 情報自動販売機

2. 特許請求の範囲

1) 金額情報を記憶する金額情報記憶部と有価値情報を記憶する有価値情報記憶部とを備えた情報カードを受け入れるカード受入れ手段と、所望の有価値情報を選択する情報選択手段と、選択された有価値情報に対応して定められた販売金額が前記金額情報記憶部に記憶された金額以下である場合に、当該有価値情報を情報カードの有価値情報記憶部に記憶させる情報書き込み手段と、前記販売金額に相当する情報を情報カードの金額情報記憶部から減殺する手段と、情報カードを返却するカード返却手段とを備えたことを特徴とする情報自動販売機。

3. 発明の詳細な説明

〔発明の属する技術分野〕

この発明は多種多様な情報の中から選択された情報をカードに格納して販売する情報自動販売機に関する。

(1)

〔従来技術とその問題点〕

従来カードに金額情報をもたせて物品を販売する自動販売機などは良く知られているが、これらの自動販売機ではカードにより物品を販売するのみであった。近年高度情報化社会においては各個人が最新の多種多様な情報(書籍、株価、住宅情報、テレビ番組、スポーツの結果等)を例えばデパートや街角に設置された情報端末機を操作することにより必要な情報を知ることができるようになりつつあるが、前記情報端末機のCRT表示装置に表示される情報を利用者が書き写したりする時間が長くなり1人の利用者が端末機を専有する時間が長くなるという欠点を有する。

〔発明の目的〕

この発明の目的は従来技術の欠点を除去し、最新の多種多様な情報の内から必要とする情報を短時間で経済的に販売できるようにした情報自動販売機を提供することにある。

〔発明の要点〕

この発明の要点は大きな記憶容量をもつ有価値

(2)

情報記憶部を具備したカードを用い、このカードに情報を書き込んで情報を販売するようにしたので、金額情報を記憶する金額情報記憶部と有価値情報を記憶する有価値情報記憶部とを備えた情報カードを受け入れるカード受入れ手段と、所望の有価値情報を選択する情報選択手段と、選択された有価値情報に対応して定められた販売金額が前記金額情報記憶部に記憶された金額以下である場合に、当該有価値情報を情報カードの有価値情報記憶部に記憶させる情報書き込み手段と、前記販売金額に相当する情報を情報カードの金額情報記憶部から減殺する手段と、情報カードを返却するカード返却手段とを備えた点にある。

〔発明の実施例〕

第1図および第2図は本発明の一実施例を示し、第1図は本発明による装置の概略を示すブロック図、第2図はカードに格納された情報を表示する表示装置の斜視図である。

第1図において、1は情報自動販売機、2は情報センタであり情報自動販売機1と情報センタ2
(3)

送出したり、対価処理部4からの金額情報や後述する主情報バッファ14に貯えられた有価値情報を情報カードに書き込む。9は情報選択部であり、前記有価値情報を選択する情報選択部5と新しい情報カードがほしい場合に押下げられるカード選択部16との表示手段を有し、対価処理部4から販売許可信号が与えられると情報選択信号が送受信部10から通信回線101を介して情報センタ2の送受信部11に伝えられる。14は主情報バッファであり、情報センタ2から送出された情報を一時的に貯えるものである。15は情報カードを情報自動販売機の出口に搬出するカード搬出部である。

情報センタ2における主情報データ蓄積部13は最新の有価値情報が蓄積されておりデータ選択部12からの選択信号に応じて対応する有価値情報を送出する。

次に動作について説明する。利用者が情報カードを有していない場合にはまず通貨投入口3から通貨を投入してカード選択部16を押す。利用者は次に情報選択部9における必要とする有価値情報

(5)

とは通信回線101を介して接続されている。3は通貨投入口を示し、通貨投入口3より投入された硬貨又は紙幣は対価処理部4で真偽判別される。対価処理部4は投入金額と後述する情報選択部9の情報選択部5により選択された有価値情報に対応して定められた販売金額とを比較し販売条件が満足されている、すなわち販売金額が投入金額以下の場合に販売許可信号を情報選択部9に送出し、釣銭が必要な場合には釣銭を払出す。対価処理部4はまたカード挿入口17から挿入されたカードの金額情報記憶部に記憶された金額情報を読み込んでその金額情報と前記販売金額とを比較して販売条件が満足されていると販売許可信号を送出する。8はカードスタッカであり金額情報記憶部と有価値情報、例えば書籍、株価、天気予報、テレビ番組、スポーツの結果等を記憶するRAM等からなる有価値情報記憶部を備えた情報カード7が貯えられている。8は情報書き込み、読み取り部であり、カード挿入口17から挿入された情報カードの記憶内容を読み出して対価処理部4に金額情報を
(4)

に対応する情報選択部5を押す。これにより対価処理部4は投入金額と選択された有価値情報に対応する販売金額とを比較して販売金額が投入金額を下回る場合に販売許可信号を情報選択部9に送出する。情報選択部9は販売許可信号に基づいて選択された有価値情報に対応する情報選択信号を送出し、この信号は送受信部10から通信回線101を介して情報センタ2の送受信部11に伝達される。前記販売許可信号とカード選択部16が押されていることによりカードスタッカ8から情報カード7が1枚取り出されて情報書き込み、読み出し部8に搬出される。

情報センタ2では情報選択部9からの情報選択信号を受信するとデータ選択部9で情報データ蓄積部13に蓄積されたデータの内のデータが選択されたかを判断して選択信号を情報データ蓄積部13に送出し、これにより情報データ蓄積部13では選択されたデータを送受信部11から通信回線101を介して情報自動販売機1の送受信部10へ伝送する。送受信部10で受信されたデータは主情報バッ

(6)

ファ14に一時的に貯えられ、この主情報バッファ14に貯えられた情報は情報書き込み、読み取り部8により情報カードの有価値情報記憶部に書き込まれる。情報書き込み、読み取り部8で有効価値情報が格納された情報カードはカード搬出部15により出口に搬出される。出口に搬出された情報カードは第2図に示すようなポータブルな表示装置100の挿入口110に挿入することにより、表示装置100により格納された有効価値情報が読み出されて表示部120に表示され、これにより情報を知ることができる。第2図において、130は表示装置100の電源スイッチ、140は情報カードの有価値情報、金額情報等を選択する選択部である。なお、投入金額が販売金額を越えている場合にはその差額を釣銭として払出しを行なわせるか、または情報カードの金額情報記憶部に格納するかは情報選択部9で利用者が選択することができる。

次に金額情報記憶部に金額情報が格納された情報カードにより有効価値情報を購入する場合には利用者は情報カードをカード挿入口17に挿入する。

(7)

情報データ蓄積部を内蔵させることもできる。

〔発明の効果〕

以上に説明した本発明によれば、情報カードに有効価値情報を格納して販売するようにしたので従来のように利用者が一々表示画面をみて有効価値情報を書き写したりすることがなくなり利用者が専有する時間を短かくすることができ、かつ有効価値情報を間違えて書き写すことがなくなり正確な情報を販売することが可能となる。

4. 図面の簡単な説明

第1図および第2図は本発明の一実施例を示し、第1図は本発明による装置を概略的に示すブロック図、第2図は表示装置の斜視図である。

1：情報自動販売機、2：情報センタ、3：通貨投入口、4：対価処理部、5：カード書き込み、読み出し部、6：情報選択部。

カード挿入口17に挿入された情報カードはカード書き込み、読み取り部8に送られて金額情報が読み出されて対価処理部4に供給される。情報選択部9の情報選択部5が押されて対価処理部4で金額情報と販売価格が比較され販売許可信号が送出されてから情報センタ2から有効価値情報が主情報バッファ14に貯えられ情報カードに有効価値情報が格納され情報カードが出口に搬出されるまでの間の動作はカードスタッカ6から情報カード7が送出されない点を除いて前述の動作と同一であるので説明は省略する。なお、カード挿入口17に挿入された情報カードの金額が販売金額以下の場合には通貨投入口3から通貨を投入することにより情報カードの金額に加算することができる。

前述の動作説明においては情報カードには通貨に相当する金額情報を格納するようにしたものについて述べたが、情報カードに所定単位毎のマークを付して有効価値情報が販売される毎に有効価値情報に応じてそのマークを消すようにすることもできる。また、情報自動販売機1に情報センタ2の

(8)

代理人弁護士 山口 重



(9)

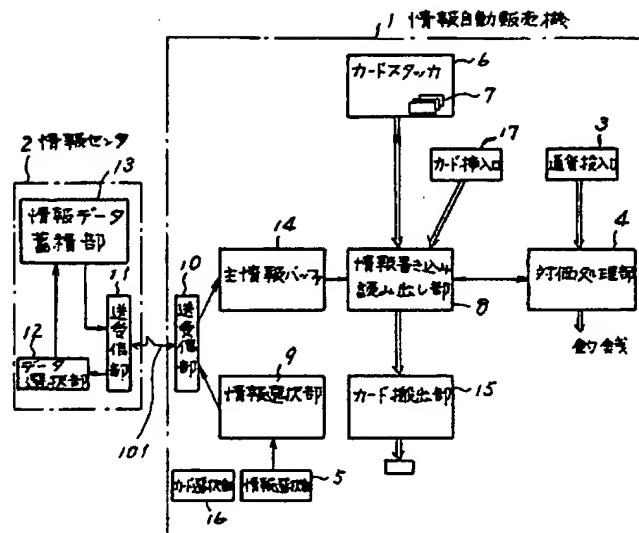
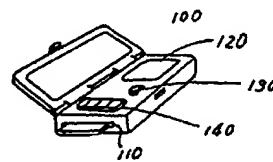


图 1:



才 2 回